

圏央道 埼玉県区間 全線開通までの経緯

- 圏央道埼玉県区間は、県内に新たな東西の交通軸を形成するとともに、関越道や東北道等の主要幹線道路を結びます。
- 平成8年3月に青梅IC～鶴ヶ島JCT間が圏央道で最初の開通区間となり、その後も順次延伸してきました。平成27年10月31日の桶川北本IC～白岡菖蒲IC間の開通により、圏央道埼玉県区間は全線が開通します。

※圏央道埼玉県区間

延長：58.4km

区間：都県境(入間市)～茨城県境(幸手市)間(入間市大字木蓮寺～幸手市大字木立)

■ 圏央道埼玉県区間の歴史

昭和60年度

都県境～関越道間
が事業化

■ 埼玉県の主なできごと

➤ 昭和60年9月
国鉄埼京線開業
(現JR埼京線)

着工前(H6.8) 国道17号交差部



平成元年度

関越道～国道254号間
が事業化

➤ 平成元年4月
初の世界盆栽展開催

工事中(H24.8) JR高崎線交差部



平成6年度

国道254号～埼玉・茨城
県境間が事業化

➤ 平成6年10月
彩の国さいたま芸術
劇場開館

平成8年3月

青梅IC～鶴ヶ島JCT間
が開通

➤ 平成12年5月
さいたま新都心
街びらき

➤ 平成14年8月
埼玉県の人口が
700万人を超える

全線開通直前(H27.8) 桶川加納IC



平成20年3月

鶴ヶ島JCT～川島IC間
が開通

➤ 平成23年3月
東日本大震災による
被害発生

平成22年3月

川島IC～桶川北本IC間
が開通

平成23年5月

白岡菖蒲IC～
久喜白岡JCT間が開通

平成27年3月

久喜白岡JCT～
境古河IC間が開通

圏央道埼玉県区間
全線開通

平成27年10月

桶川北本IC～
白岡菖蒲IC間が開通

